

令和7年12月4日

実験実習機器センター
利用者各位

実験実習機器センター長
高澤 啓

病理標本作製の新規受託サービス開始のお知らせ

日頃から当センターの運営に関しまして、ご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、組織室において、12月1日より「PAS染色」特殊染色サービスを開始いたしました。

PAS染色(Periodic acid-Shiff reaction)は、主として上皮系腺細胞から発生した癌細胞から発生した癌細胞のムチンや刷子縁の証明および腫瘍病変における癌細胞の基底膜を越えての浸潤の有無、腎糸球体基底膜病変の観察、真菌類や赤痢アメーバなどの病原体の検出など、一般的な多糖類検出法として広く用いられています。

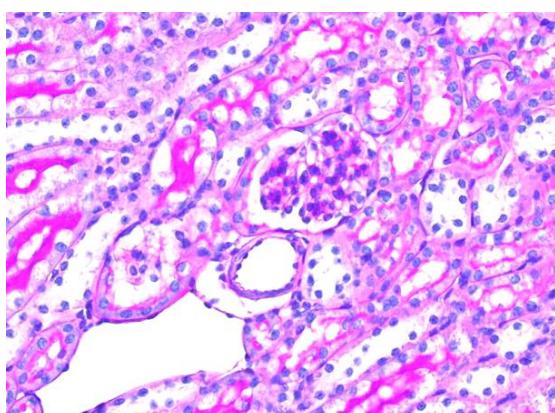
特に、腎生検の染色法の中でも最も頻繁に用いられる染色法のひとつで、糸球体・尿細管・血管の各基底膜およびメサンギウム基質は成分に糖蛋白を含むため、PAS陽性(赤紫色)を呈し、腎組織の全体像を掴むことに適した染色です。

この機会にぜひご利用いただき、研究の一助にしていただければ幸いです。

ご不明な点やご質問がございましたら、下記担当者までお問合せください。

記

特殊染色 PAS染色 550円/枚



【PAS染色腎組織】

糸球体基底膜や尿細管上皮などの基底膜が赤紫色に、また近位尿細管上皮細胞の刷子縁もピンク色に染色されている

[本件担当・連絡先]

実験実習機器センター 組織室

凍結組織：官野 (PHS 8627) FFPE：智内 (PHS 8628)

E-mail : kiki_tissue@asahikawa-med.ac.jp